
未来メガネ

伊之口浩作

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

未来メガネ

【Nコード】

N2110A

【作者名】

伊之口浩作

【あらすじ】

東京大学時間工学未来学科の元教授冴川輝彦の、一炊の夢を描いた作品。

（前書き）

短いです。すぐ読み終わります。

「やったぞ！ ついに完成した」

日付が変わって間もないの研究室に、歓喜の声が響き渡る。

「この『未来メガネ』さえあれば、私は大金持ちだ！」

老齢の研究者は、早速、発明仕立てのメガネをかけてみた。メガネをかけた彼は最初に競馬新聞を見る。

「ほう。明日の皐月賞は四・八の一点買いだな」

彼はそう言っていると、普通の新聞に手を伸ばした。

「どれ、発明ついでに、未来の事件でも見るか」

彼は新聞を読み続けた。

「……！」

気になる記事でも見つけたのであろうか、彼の眉毛がピクリと動き、皺だらけの臉が大きく開いた。

「くそう……！ 金儲けも楽じゃないな……」

彼はそう言ったきり動かなくなった。

『元東大教授、発明品とともに臨終』

その日の夕刊の隅に、小さい見出しでそう書かれていた。

『今日早朝、東京都練馬区に住む冴川輝彦さん（七八）が亡くなっているところを新聞配達の男性が発見した。』

冴川さんは生前、東大の教授をしていたが、研究分野の荒唐無稽さに大学側が愛想をつかし、二十年前に大学を解雇され、それから、独力で研究を続けていたという。

冴川さんの研究していた分野は時間工学といい、冴川さんは未来学科を専攻していた。

冴川さんの遺体が発見されたとき、冴川さんは発明したと思われる発明品未来メガネを掛けた状態だったという。

生前の冴川さんのことを知る人物に話を伺ったところ、

「彼は昔から変わってましたからね。日本が沈む夢を見たとか、カ
ンフー物の映画に出たとか、動物の声が聞けるとか、とにかくしよ
ーもない人でしたから。仏様となった今では、冥福を祈りますがね
と、話している」

（後書き）

ちやっかり自分の小説の宣伝してます。宜しくね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2110a/>

未来メガネ

2010年10月11日14時12分発行